

「横須賀市水産関係公共事業評価懇話会」議事録

日 時 令和6年10月21日（月）14：00 から 16：00
場 所 消防局庁舎3階第2会議室
出 席 者 岡委員 岡安委員 小澤委員 関委員（計4名）
事 務 局 河野港湾部長
小林港湾整備課長 杉崎課長補佐 藤田係長 浅川主任
パシフィックコンサルタンツ(株) 橋中氏（オブザーバー）
傍聴者の有無 無

議事内容

1. 開会

2. 港湾部長挨拶

3. 委員紹介

4. 議事

（1）長井地区水産流通基盤整備事業の事後評価について

長井漁港は、首都圏へ水産物を供給する流通の拠点として重要な役割を担っており、安全・安心な漁業活動の確保と効率的な陸揚げ、出荷システムの構築を図るため、外郭施設、水域・係留施設及び機能施設等の整備を行ったものである。事業実施以前は、港内静穏度や係留施設等が不十分であったため、陸揚時の潮待ち時間の発生、出漁日数の減少等といった問題があったが、本事業による防波堤、岸壁、物揚場等の整備により改善等が図られたことについて、事後評価を実施した。

（2）意見聴取

・資料の説明後に、事後評価に関連する四つのテーマについて委員各位の意見を求めた。

費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化に関すること

漁業情勢、社会経済情勢の変化に関すること

本事業により整備した施設の更なる利用・保全の促進に関すること

長井漁港の今後の利用・保全の促進に関すること

- ・各委員からの主な意見及び質疑等については以下のとおり
- ・費用対効果（B/C）分析で使用している労務単価について、労務単価が上昇した要因として、物価上昇だけでなく、漁業活動の効率化についても考察することが望ましいと意見があった。
- ・（事務局）漁業活動の効率化についても考察を行い、事後評価に反映する。
- ・水産物動向の図表をもとに、高価なハタの漁獲増加やワカメの減少に関する情報について質問があった。
- ・単価の良いキンメやオオモンハタの水揚げ増加が収入に貢献、磯焼けによりワカメ・ヒジキ・テングサが減少している。
- ・津波のリスクについて南海トラフと大正関東地震を比較し、どちらがより大きな脅威か質問があった。
- ・（事務局）南海トラフ西側モデルの方が大きいですが、長井地区は大正関東が L1 で該当している。
- ・施設が防災拠点として指定されているかどうか質問があった。
- ・（事務局）防災拠点の指定はない。
- ・防災の観点から漁業者や住民の津波対応について質問があった。
- ・横須賀市で作成した防災マップで、津波避難の訓練を行っている。家屋は海岸沿いの低い地域にあり、高台への避難を徹底することで、住民の命を守る訓練を行っている。
- ・台地への移住について質問があった。
- ・台地が畑のため家屋を建てにくい区域となっている。
- ・漁業者が減少している原因について質問があった。
- ・漁業者の減少の主な原因は収入の不安定さであり、そのために後継者が不足し、高齢化が進んでいる。温暖化の影響で水温が上昇し、魚種の変化や藻場の磯焼けが進んだ結果、漁獲量が減少している。
- ・環境の変化を受け入れ、漁業を維持し再生する方法として、漁場整備や戦略的手法の導入に取り組んでいるか質問があった。
- ・アオリイカの産卵礁の設置や、横須賀市と共同で藻場再生事業を行っている。

- ・横須賀市と神奈川県との支援を受け、城ヶ島の技術センターで早熟カジメを生産し藻場の再生に取り組んでいる。
- ・長井地域での主要な海藻について質問があった。
- ・ワカメを養殖している。天然のワカメも存在するが、3月から4月頃に枯れる。かつてカジメも繁茂していたが、現在は全く見られない、壊滅的な状況となっている。
- ・神奈川はシラスの売り方が上手だと思っているが、長井漁港のシラスは特別な呼び方があるか質問があった。
- ・「湘南しらす」としてブランド化されている。
- ・漁業者だからこそ分かる海の中のこと、藻場の取り組みとか、どれだけ漁業者が努力してやってきているのかという姿を発信し、それによって海の中のことを一般の人にも理解してもらうことが大事ではないかと意見があった。
- ・過去に漁協のホームページを使って情報発信をしていたが、現在は停滞している。
- ・（事務局）情報発信の継続が難しい点に触れつつ、良い事例の紹介を求めた。
- ・情報発信の成功例として、兵庫県の明石浦漁協の事例を紹介した。漁師が海底耕耘やため池のかいぼり作業を行い、その様子を動画やポスターで発信（※1）することで、一般の人の注目度が高まり、漁師自身もこんな大事なことに取り組んでいる、もっと頑張ろう、発信していこうと意欲が高まった。
 - ※1）「いざ、耕す！」海底耕耘プロジェクト 農林水産大臣賞受賞
 - 「海へ、届け！」かいぼりプロジェクト
 - 「守り、育む！」海の恵み保全プロジェクト
- ・流通拠点として他港からの利用例があるか質問があった。
- ・隣接する水産会社と取引している千葉のまき網漁業者が水揚げするケースがある。
- ・長井漁港の独自ブランドについて質問があった。
- ・トラフグをブランド化（「相模のトラフグ」）している。
- ・東京では遠方の県産品はよく見かけるものの、逆に東京に近いとそうゆうのが見えにくい。例えば長井漁港で揚がった何々とか、なかなか見る機会がなく、近場の漁港の存在感は低い。ブランド化まではいかなくても東京と神奈川の近さを活かし、鮮度や魚種が豊富というメリットをうまくアピールすることで、消費者の中には興味があって買いにくる人がいそうな、そのような展開で何かできそうではないかと意見があった。

- ・農協の施設「すかなごっそ」内で漁協が直売所を運営しており、そこで長井港産の魚をPRする取り組みによって、県外から訪れる人々に情報発信を行う機会が増えている。
- ・漁業者が独自にアピールを続けることの難しさを指摘し、魚の売り方も安い魚ばかりだと、国内の漁業が厳しいまま、どんどん人も減ってしまうので、地元の漁業者が仕事をしやすく、品物を売りやすくなるような、自治体や国にそういう方面でのサポートをしていただきたいと意見があった。一方で、一般の人たちにそういう形で認知されれば、いろんなところから、漁業にという若い人も出てくるかもしれないし、出てきてほしい、そういうのを自治体や国にはお願いしたいと意見があった。
- ・漁港をベースにいろんな経済活動が、漁業、水産を中心に回っていけば、更なる施設の利用・保全へ繋がっていくと意見があった。地理的に近い三崎漁港を発端に、海の幸や自然の魅力を伝え、観光客や釣り客を呼び込むことで地域の所得向上や雇用機会を確保し次世代への継承にも繋がる海業が、水産庁の事業として振興されている。長井漁港は地理的に近く通り道でもある、連携というか近くに来た人に立ち寄ってもらうことで、人を呼び込み滞在して、水産物を買ってもらうことも考えられると意見があった。
- ・プレジャーボート寄港の対応について質問があった。
- ・海の駅、そのような考えはあったが、水揚げのところで制約があり実現していない。
- ・老朽化した施設の対応について質問があった。
- ・(事務局) 水産庁の機能保全事業に基づき、横須賀市内の5つの漁港を点検し、優先度が高い場所から順次修繕を進めている。
- ・養殖に適した場所の有無について質問があった。
- ・台風のコースによって、波の影響が激しいため、養殖には適さない。
- ・アオリイカが新しい魚種として増加しているかどうかについて質問があった。
- ・水温上昇によりアオリイカが増えている。ヤリイカの捕獲量が減少したことでアオリイカの単価が上がり、産卵礁の設置などの取り組みが進められている。
- ・漁業者の高齢化に伴い、就労環境の改善や軽労化に関する要望はないか質問があった。
- ・長井地区に大きな港を造っていただきたい希望がある。現在は、台風の際に遠くの油壺まで避難しなければならない状況で、地元で避難が可能になれば、時間と労力の無駄を減らせる。
- ・港の機能として地元で避難できることは重要で、これにより無駄な時間や労力が省けるとの意見があった。

- ・全体を通しての各委員の講評は以下のとおり

- ・委員 A

説明のとおり、今回の事業により港内の静穏性が確保され、漁業活動の安全性と効率が向上したが、大型台風の来襲時には一部地区で他港避難が生じていることから、更なる漁港整備をお願いしたい。

- ・委員 B

当該地域の水産業並びに漁港利用の今後を考える際には、環境の変化や漁業者の新たな意欲を考慮し、漁礁や産卵礁の設置、藻場の再生といった漁場環境の改善策についても検討すべきだと思います。

- ・委員 C

水産には広い意味で地産地消の部分があり、努力次第で漁獲を増やすことができ設備投資をする価値もある。長井漁港での近海漁業は、気候変動による漁獲の不安定さというリスクがある一方で、豊富な魚種を楽しめるというメリットがあり、努力のしがいがあるので、国や自治体が設備投資を行えば、漁業者もそれに呼応すると思います。

また、日本全体で漁獲量が減少し、経済活動も低迷しているため、魚の入手が難しくなる日が近々訪れそうなので、日本の漁業を大事にしていきたい。

- ・委員 D

事業評価によって一定の効果が確認できたが、整備された施設を誰がどのように使っているか、そこで努力している漁業者の姿を発信することが大事です。これにより、一般の人が海の中のことを理解しやすくなり、漁業者の意欲が高まるとともに、長井漁港の知名度も向上すると思います。

また、漁業者が減少すると生産性や施設の効果が低下するため、若い人を巻き込むためにも、年間の収入や生活様式のモデルケースが1つでも有れば良いと思います。

5. 閉会